

日時:2013年3月26日(火)18:20 - 19:45

場所:広島大学東広島キャンパス EF 会場

司会:領域2代表 安藤

書記:幹事 田村

出席者:安藤、菊池、米田、三好、田村、蓮尾、永岡、岡本、東口、横井

【2013年3月27日(水)の運営会議の議事次第確認しつつ、以下の事を議論, 決定した。】

1. 今後の新役員体制について

以下の方々が、役員任期終了となる。

(~2013年3月末)

前代表 菊池 満 日本原子力研究開発機構

(~2013年9月末)

役員 三好隆博 広島大学

役員 田村直樹 核融合研

役員 蓮尾昌裕 京都大学

新役員候補として以下の方々を推薦したいとして承認をお願いすることとした。

井戸 毅 核融合研

成行泰裕 富山大学

難波慎一 広島大学

今後の役員体制(案)は以下の通り。

○(2013.4 から 2014.3 まで)

領域代表 米田仁紀 電気通信大学

領域副代表 斉藤輝雄 福井大学

領域前代表 安藤 晃 東北大学

○(2014.3 まで領域委員、2014.9 まで役員)

役員(領域運営委員) 出射 浩 九州大学

役員(領域運営委員) 永岡賢一 核融合研

役員(領域運営委員) 宮戸直亮 日本原子力研究開発機構

○(2014.9 まで領域委員、2015.9 まで役員)

役員(領域運営委員) 岡本 敦 東北大学

役員(領域運営委員) 東口武史 宇都宮大学

役員(領域運営委員) 横井喜充 東京大学生産研

○(2013.10 から 2016.9 まで役員、2014.4 から 2016.3 まで領域委員)

役員(領域運営委員) 井戸 毅 核融合研

役員(領域運営委員) 成行泰裕 富山大学

役員(領域運営委員) 難波慎一 広島大学

2. 学生優秀発表賞について

- 応募要領について一部守られていない点があるので、次回以降も引き続き周知徹底することとした。

3. 若手奨励賞(第8回(2014年))選考について

- 第8回の選考委員会委員長は、領域2前々代表の菊池満さんであることを確認した。
- 応募数が年々減少傾向にあるので、積極的に応募して頂くよう関係各所をお願いする

こととした。

4. 2013年秋季大会案内とシンポジウム、招待・企画講演の提案について

- 2013年秋季大会の場所、スケジュールについて確認した。
- 現時点で提案されている企画(チュートリアル)講演, 招待講演, シンポジウムについて説明があった。
 - チュートリアル講演:「プラズマ波動とモード変換の物理」前川孝先生(京都大学)(提案者:出射浩先生(九大応力研))
 - 招待講演:「簡略化モデルによるL-H、H-L遷移の時空間構造の解析」三木一弘先生(韓国 NFRI)(提案者:宮戸直亮先生(原子力機構)、代理説明者:出射浩先生(九大応力研))
 - シンポジウム:「宇宙プラズマ無衝突衝撃波生成の大型レーザー模擬実験」(提案者:高部英明先生(阪大レーザー研))
 - シンポジウム:「乱流揺動実験の新展開」(提案者:藤澤彰英先生(九大応力研))
- シンポジウム、招待・企画講演の活性化について意見交換が行われ、その募集の仕方について議論があった。

5. 学会企画講演(セッション)の申込みについて

- 領域2の活性化のための施策として、学会企画講演(セッション)を提案することについて説明があり、その実施要領について議論があった。
- 上記、学会企画講演(セッション)への提案として、「非平衡極限プラズマ」セッションの提案があり、領域2運営会議に諮ることとした。

6. プラズマ宇宙物理 3 学会合同セッションについて

- 今学会で第7回が実施中であり、その概要説明を安藤さんが行うことが確認された。

7. PLASMA2014について

- ほぼ確定している開催場所(新潟県新潟市の朱鷺メッセ(新潟コンベンションセンター))、時期(2014年11月18日(火)~21日(金))について、確認された。
- その準備状況について説明があり、今後のスケジュールや実施体制について議論があった。

8. APPC-12 について

- 開催が迫っている APPC-12 の現状について、菊池さんより説明があり、積極的な応募を各所に依頼することを確認した。

9. APS, EPS, GDC などへの One Voice 推薦の件

- 現時点で1件の応募があることが、安藤さんより紹介があった。

10. その他

日本学術会議報告については安藤さんが紹介する予定であり、APPC については菊池さんが紹介する予定である。

以上